

2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人 甲賀学園

総括

2023年度（令和5年度）は河合前理事長より退任の意向を受け、第1回理事会及び定時評議員会にて選任された理事役員の内より、橋本善信氏が第2回理事会にて新理事長として選定された。

そして、新しい役員体制のもと、小規模化等に係る施設整備事業の着工が始まった。本体施設の小規模化（既存の児童ホーム2カ所の解体・建設および本館の解体・建替）に向けて2023（令和5）年から2024（令和6）年の2年間で改築を行う計画である。これまで綿密に建替の計画を立ててきたが、物価高騰や資材高騰の影響を受け、設計変更や資金計画の見直しを余儀なくされた。更には、当初見込みのあった補助金が減額となったことも追い打ちとなった。新しい建物を整備するために、設備や備品は最低限に抑え、外構は全て諦めることで設計変更を行った。そこで、資金調達のために以前から理事会等で継続的に話し合われていたクラウドファンディングに挑戦することとなった。READYFOR 株式会社との契約のもと、11月3日から12月22日までの49日間、法人役員・職員が一丸となって取り組んだ。期間中、100本の記事を配信し、「子どもとのほっこりエピソード」や「新しい施設に期待すること」などを紹介した。結果、当初目標を大割に超過し合計312名、最終到達金額10,278,000円の支援を得た。今回のクラウドファンディングを通して、世の中に鹿深の家のことを知ってもらう機会となり、また職員にとっても施設や自分たちの取り組みに誇りを持てる機会となった。また、2023（令和5）年4月より開設した小規模グループケアホーム「うららか」においては、地域の組活動に参加し、地域の中での共生の実現を目指し運営している。このように、2023（令和5）年度は施設整備や新たな事業所の開設と大きく前進した一年となった。

施設生活に大きな制限を加えることになった新型コロナウイルス感染症についても、5類移行に伴う社会情勢の変化に伴い、施設行事の実施について緩和を行った。鹿深まつりにおいても11月に4年ぶりに実施した。12月から始まる施設の大規模改修に先駆け、「あしあと～未来へ～」というテーマを掲げ、体育館と建て替える本館棟を使ってイベントを企画した。毎年恒例となった小佐治すいりょう太鼓の方々や子どもと職員の演奏発表、建物内での写真展示やウォークラリーを通して施設の歴史を振り返ることができるイベントを実施した。子ども、職員、関係者、法人役員、卒園生、地域の方を含め223名に出席いただけた。

最後に「児童養護施設鹿深の家の「ふつう」子育て～子どもが育つために大切なこと」を5月に刊行、書籍刊行トークイベントを9月に実施。書籍においては第46回全国児童養護施設長研究協議会において、優れた研究に対して送られる「松島賞」を受賞することができた。これらを通して鹿深の家での取り組みを広く発信することができた。

以下、事業計画の項目に基づき詳述していく。

【法人運営の三本柱に関して】

1. 地域に愛される施設を目指して

2023年（令和5年）4月より、「分園型小規模グループケアホームうららか」を開所し、施設の地域分散化に向けて新たな一步を踏み出した。地域の組会に参画し、様々な交流を日常的に行った。また、甲賀市の福祉関係部局からの委託を受け、一時預かりを実施した。一時預かり事業の実績としては、年間5ケース延べ日数58日の利用となった。里親のレスパイト事業についても実施可能な形で受入を行った。

2. 住む人と働く人が誇りを持てる施設を目指して

新型コロナウイルスの第5類移行を受け、様々な形で外部とのつながりを再開した。ボランティアや企業との交流、職員の外部研修への積極的な参加を再開した。職員は外部との繋がりの中で学びを深めることができただけでなく、自分たちの取り組みが確かなものであることを確認でき、自信を持てる機会ともなった。

3. 多種多様な専門家が協働する施設を目指して

書籍の発行、書籍刊行のトークイベント、クラウドファンディングといった取組に対して、様々な職種の職員が協働し取り組んだ。それぞれの考えや思いを文字にすることで施設のことを外部の方に知ってもらえただけでなく、職員それぞれがそれぞれのことを理解しあえる機会ともなった。

2023年度優先整備事項について

1. 地域化・小規模化に向けて

「鹿深の家小規模化等に係る施設整備事業」について理事会での承認を経て、工事施工業者の入札や監理業務業者の選定を行った。第一期工事（2024年10月中旬完成引き渡し予定）として椿ホーム・柊ホームの小規模ユニット化工事と新しい本館の建設を開始した。

2. 高機能化・多機能化にむけて

新たな地域小規模児童養護施設について、設置に向けて候補地選び等を行った。また、地域支援の体制整備に向けて県が進める里親センター構想への参画が決まった。

3. 事業の安定運営に向けて

人材確保、人材育成について、就職フェア等への出展に加え、京都・滋賀を中心に各大学訪問を実施し、人材確保に努めた。その結果、2024（令和6）年度4月雇用となる新規採用者が5名、年度途中での既卒者採用が2名となった。ホームページや就職フェアを通して応募をいただいたが、中には、鹿深の家の「ふつう」の子育てを読み就職を希望された方もいた。また、実習を通して採用に繋がったケースもあった。

4. 地域共生社会の実現に向けて

甲賀圏域の他法人との連携に向けての情報収集として、甲賀市主催の会議等（甲賀市地域福祉審議会、福祉連携会議等）に参加した。3月29日には甲賀市内にある社会福祉法人（さわらび福祉会、絆敬会、国際交流協会）と第一回となる法人連携会議を実施した。

5. 施設の理解者の拡大に向けて

施設による広報活動の強化の取り組みとして、2023年5月30日に「児童養護施設鹿深の家の「ふつう」子育て～子どもが育つために大切なこと」を刊行した。5年越しでひとつの形を整えることができた。更には、2023年9月9日に書籍刊行トークイベント実施。75名の方に幅広い地域からご参加いただいた。社会的養護の関係者のみではなく、学校の先生・大学の教授から建築会社の方や議員さんなども来られ、好評を博した。

上記の書籍に関する動きやクラウドファンディングにより、様々な方に施設を知ってもらう機会となり、後援会についても新規入会者数が増えた（団体8団体、個人17名）。

2023年度特別対応事項（クラウドファンディング）

【クラウドファンディングの結果（期間中の出来事）】

日付	出来事
11月3日	クラウドファンディング公開開始。同日に鹿深まつりを開催。
11月30日	第一目標額である550万円を達成。これにより、遊歩道の設置が可能となった。
12月14日	第二目標額である790万円を達成。これにより、自転車庫の設置が可能となった。
12月19日	最終目標額である1000万円を達成。これにより、子ども達の生活する建物の周りにフェンス等の設置が可能となった
12月22日	クラウドファンディング公開終了。

寄附金額 10,278,000円 支援者総数 312人

【資金計画】

収入の部	金額	備考
寄付金	10,278,000円	クラウドファンディング寄付金総額
施設整備取り崩し	1,469,812円	本部資金から
合計	11,747,812円	
支出の部	金額	備考
遊歩道整備事業	5,500,000円	当初予算額
自転車庫整備事業	2,400,000円	当初予算額
境界（フェンス設置事業）	2,100,000円	当初予算額
手数料（注記）	1,747,812円	READYFOR に支払う手数料相当分として
合計	11,747,812円	

注記（クラウドファンディング手数料について）

①寄付額の14%額に消費税を加えた額（1,582,812円）＋早期入金オプション額（165,000円）の合算 ②早期入金オプションとは、寄付控除用の領収書を年内の日付で発行するために必要な措置（12月27日付で寄付金の入金を確定させるために必要な措置）

【これからの施設整備計画（スケジュール）】

時期	建設工程（予定を含む）
令和6年1月	建設仮囲い、建物の解体に伴い、一部の子供達への引っ越し（施設内の他ホームへ）
令和6年1月16日	解体工事開始（柵ホーム）、2月20日解体終了、2月26日～縄張り、3月6日地鎮祭、基礎工事へ
令和6年10月	新ホーム（柵・柵）および新本館の完成及び、遊歩道整備、自転車庫整備、境界（フェンス工事）整備完了予定。その後引っ越し。引っ越し後旧本館と旧ホーム（柵）の解体、
令和7年1月末	解体完了
令和7年3月末	完成引き渡し

監事監査、評議員会・理事会の開催および役員等の業務執行状況

(1) 監事監査の結果

項目	内容
実施日時	令和5年5月22日（月） 午前10時から12時
実施場所	鹿深の家
立会人等	（施設長）春田真樹 （監事）森地万里子、平井 博 新経営サービス清水税理士法人
結果	<p>(1) 事業報告等の監査結果</p> <p>① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</p> <p>② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</p> <p>(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。</p>

(2) 評議員会の開催

開催数 開催年月日	評議員会ごとの出席者氏名			欠席者氏名	議 題
	評議員数 /定数 氏名	理事	監事		
定時評議員会 6月22日	6/7 金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 生田 雄 清水清博	杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田眞樹	森地万里子	河合定郎 桐高とよみ 平井 博	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告（案）の件 令和4年度本部会計・施設会計・第二鹿深の家会計の決算（案）の件 社会福祉充実計画（案）承認の件 令和4年度社会福祉法人等指導監査の結果の件 理事および監事の選任の件
第2回 11月22日	6/7 金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田 雄	橋本善信 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田眞樹	田中俊之	杉森 正 清水清博 森地万里子	<ul style="list-style-type: none"> 本部・鹿深の家・第二鹿深の家第一次補正予算(案)の件 目的外の積立金取崩しについての承認の件
第3回 3月14日	6/7 金田眞宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田 雄	橋本善信 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田眞樹	森地万里子 田中俊之	杉森 正 清水清博	<ul style="list-style-type: none"> 本部、鹿深の家、第二鹿深の家令和5年度第二次補正予算案の編成の件 令和6年度事業計画（案）の件 本部、鹿深の家、第二鹿深の家令和6年度当初予算案の編成の件

(3) 理事会の開催

開催数 開催年月日	出席者数/定数	欠席者 氏 名	出席監事 氏 名	議 題
	出席者名			
第1回 6月7日	5/6 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹	河合定郎	森地万里子 平井 博	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告（案）の件 ・令和4年度本部会計・施設会計・第二鹿深の家会計の決算（案）の件 ・社会福祉充実計画（案）承認の件 ・定時評議員会開催（案）の件 ・旅費規程の改定（案）の件 ・令和4年度社会福祉法人等指導監査の結果の件 ・理事および監事推薦の件 ・第2回理事会招集省略の件
第2回 6月22日	6/6 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹	無	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定の件 ・施設長の選任の件 ・旅費規程の改定（案）の件
第3回 9月4日	5/6 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 青木小司 春田真樹	上里弥生	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード利用規程（案）の件 ・経理規程の改定（案）の件 ・施設の大規模改修の承認の件
第4回 9月26日	6/6 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹	無	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の大規模改修の承認の件 ・施設の大規模改修にかかる入札業者の選定の件

第5回 10月17日	6/6 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹	無	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事費の承認の件
第6回 11月22日	6/6 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹	無	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・入札結果の報告及び施工業者の決定の件並びに監理業務業者の選定について ・積立金の目的外の取崩しについての承認の件 ・令和5年度本部・鹿深の家・第二鹿深の家第一次補正予算（案）の件 ・賃金規程改定（案）の件
第7回 2月26日	6/6 橋本善信 青木小司 井ノ口博己 上里弥生 杉森 正 春田真樹	無	森地万里子 田中俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・本部、鹿深の家、第二鹿深の家令和5年度第二次補正予算（案）の編成の件 ・令和6年度事業計画（案）の件 ・本部、鹿深の家、第二鹿深の家令和6年度当初予算案の編成の件 ・特別自立支援金制度申請の件 ・みどりさん奨学金制度申請の件 ・衛生管理及び衛生委員会に関する規程の件 ・評議員選任・解任委員の選任の件 ・第3回評議員会の開催の件

(3) 施設外研修・施設内研修に対する役員の参加状況

施設外研修

日付	研修会名	主催/大会テーマ	参加者
11月6～8日	全養協施設長研修	全国児童養護施設協議会／テーマ「子どもを主体とした養育の社会化をめざして～児童養護施設が果たす多様な役割・機能と進むべき方向とは～」	春田

12月11日 ~22	社会的養護を担う児童福祉施設長 研修会	社会福祉法人全国社会福祉協 議会／社会的養護施設やその 要たる施設長に求められる役 割等について研修し、専門性 の向上を図る研修会。	春田
1月24日 ~25	関東ブロック事務研修	関東ブロック児童養護施設協 議会／施設の運営管理責任者 である施設長および財務の中 心的な役割を担う職員を対象 とした研修会。	春田

施設内研修

日付	講師/概要	参加者
4月14日 10月26日	READYFOR 株式会社 大澤 氏 「クラウドファンディング研修」	全職員
6月2日	フォスタリング機関こばと 小嶋、小島、西村 氏 「ホームステイ事業について」	全職員
12月1日	滋賀県社会福祉協議会より 玉木氏（貸付担当）、山田氏 『児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付制度につい て』	全職員 桐高とよみ
2月2日	子ども青少年局 酒見氏 「里親支援センター事業について」	全職員 杉森 正

(4) 職員会議に対する役員の参加状況

職員会議実施日時	参加者名	
4月4日		
5月2日		植村恵子
6月2日		黒川昌明
7月7日	橋本理事長	金田眞宏
9月1日		安井一夫
10月6日		
11月2日		
12月2日		桐高とよみ
1月12日	橋本理事長	
2月2日		杉森 正
3月8日		青木小司

理事会および評議員会、監事の体制

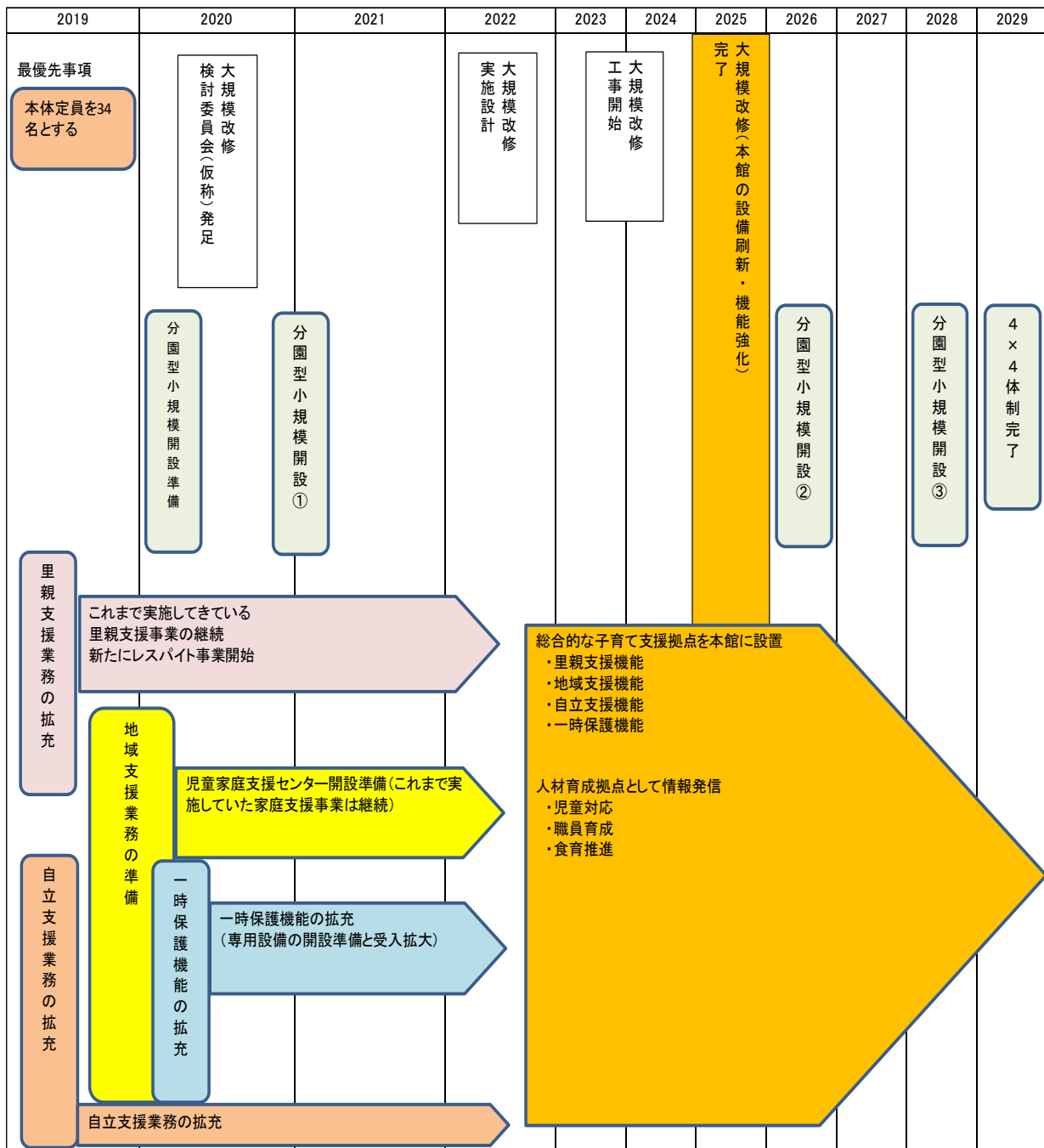
理事定数 6 任期 2023 年 6 月～2025 年 6 月（2 年間）

評議員定数 7 任期 2021 年 6 月～2025 年 6 月（4 年間）

監事定数 2 任期 2023 年 6 月～2025 年 6 月（2 年間）

理事会	理事長 橋本善信 杉森 正 井ノ口博己 上里弥生 青木小司 春田真樹
評議員会	金田真宏 植村恵子 黒川昌明 安井一夫 桐高とよみ 生田雄 清水清博
監事	森地万里子 田中俊之

鹿深の家の 10 年計画



その他（後援会の協力体制）

主な活動内容

事業内容	詳細
広報活動	<p>① 定期刊行物として鹿深の家だよりを発行 第111号 令和5年7月 第112号 令和5年10月 第113号 令和6年1月</p> <p>・後援会会報発行 令和5年10月1日 発行方法…ホームページ及び郵送、甲賀町回覧</p> <p>② ホームページの運用 法令で定められた内容について公開 役員名簿、諸規程（定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程）、事業計画および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者評価、その他、法人の活動や施設の紹介等</p>
地域交流	<p>鹿深まつり開催 日時 令和5年11月3日（金） 参加者総数223名（うち106名が地域や外部の方々） 開催テーマを「あしあと～未来～」と定め、令和6年1月から小規模化にかかる施設整備の工事が開始するため、現在の本館を見てもらえる最後の年になるため、鹿深の家の歴史を感じられる展示や専門職のブース・子どもたちの写真館などを設置した。 従来の和太鼓の発表及び企業様と協賛してのレクリエーションも実施できた。</p> <p>またコロナ禍での4年ぶりの開催となったが、まだコロナの心配もあり、午前中のみで入場制限をした中での開催であった。 企業や地域の方々の協力をしていただき、地域の皆様や関係者から大きな評価を得て、まつりが盛大に開催できた。</p>
後援会組織	<p>活動に当たっては、卒園する子どもの現状を踏まえ、後援会として応援しているというメッセージを伝えるため、自立支援に重点をおいた活動を行った。</p> <p>また役員には当施設の理解を深めてもらうため、年4回通学路の清掃ボランティア、ゆずジャムづくりなどをして子どもたちの応援をしている。</p> <p>後援会が中心となって、施設の現状を地域の方に知ってもらえる手立てを今後も検討していく。</p>